



「どうするネット安全」

千葉市青少年サポートセンター南分室
 主 査 野 村 幸 能

今年度から青少年サポートセンター南分室に勤務しております野村と申します。近年、社会のデジタル化が急速に進んでいます。スマートフォンの普及やAIの導入など、暮らしやすい環境を構築し、生活の利便性も向上しています。

一方、インターネットに関連したトラブルが著しく増加しており、時には大きな事件も発生しています。令和4年度内閣府から出された青少年のインターネット利用環境実態調査で、インターネットを利用していると回答した青少年（3,183人）に、「家庭ではインターネットの使い方について何かルールを決めているか」と聞いてみたところ、25.1%の青少年が「ルールを決めていない」と回答しています。

そのような背景の中、青少年サポートセンターでは、令和3年度から「ネット安全教室」に講師を派遣しています。「ネット安全教室」では、千葉市や全国で起こっているインターネットトラブルの事例を用いながら、その危険性について伝えています。具体的には ① 誹謗中傷・ネットいじめ ② オンラインゲーム ③ 誘い出し ④ アカウントの乗っ取り ⑤ 個人の特定 ⑥ 不適切画像・動画の投稿などです。実際問題としてネットいじめで命を落としてしまったり、オンラインゲームの課金やゲーム機器の購入等で数百万円を使ったりする他、SNSで知り合

った人に誘い出されて被害に遭う案件も発生しています。また、SNS上の写真やプロフィール等から個人情報が引き出され、被害につながるケースもあります。だからこそ、そのような被害にあう児童・生徒を無くしたい、そして何よりインターネットを正しく活用できる大人になってほしいという思いで教室を実施しています。「ネット安全教室」で対面した子どもたちの反応を見ると、小学校5・6年生の8割、中学生の9割が自身のスマートフォンを所有しており、多くの子どもたちにとって SNS の活用は日常生活の一部となっています。

今年度前期には、小学校42校、中学校29校、高校1校、ライトポート2校、保護者2件、地域1件と、延べ19,000人を対象に「ネット安全教室」を実施することができました。後期も、児童・生徒はもちろん、地域や保護者に向けても実施していきたいと思えます。

子どもたちは、まだまだ旅路の途中です。多くの失敗を経験し、乗り越えて成長していきます。今、その芽を摘むわけにはいきません。

これからも、暮らしを豊かにできるインターネットをより快適に活用できるようにするために「ネット安全教室」に力を入れていきたいと思えます。

【不審者等情報】

《令和5年9月》

区分	発生日時	場 所	内 容
露 出	9月上旬（金） 午後3時頃	高 洲	下校途中、木陰から出てきて下半身を露出する男に遭遇した。
暴 行	9月下旬（水） 午後3時30分頃	千城台西	下校途中、50～60歳代位の男に後ろからいきなりランドセルをつかまれた。

声をかけられる・体を触られる・手を捕まれる・露出・盗撮等の被害、これらの被害に遭いそうになった等々

不審者に遭ったら、すぐに警察110番！

令和5年度 青少年健全育成成功労者表彰式・青少年の日フェスタ

9月16日(土)に千葉市生涯学習センターにおいて、令和5年度 青少年健全育成者表彰式が行われました。これは千葉市青少年問題協議会が、千葉市の青少年健全育成に顕著な功績があった方や団体に対して、その功績を称えるものです。表彰式では来賓として千葉市長 神谷俊一氏、千葉市教育長 鶴岡克彦氏を始め、多くの方がご臨席され、千葉市青少年問題協議会会長 宮本みち子氏から75名の受賞者へ表彰状が授与されました。受賞者の中には10名の青少年補導員の方もいらっしゃいました。この度は誠にありがとうございました。

そして同会場では、青少年の健全育成に係る様々な団体が参加する行事「青少年の日フェスタ」も並行して開催されました。

青少年補導員のみなさまにもご協力を頂き、市補連主催による「やってみよう!将棋と五目ならべ」も行われ、多くの子ども達に活動を楽しんでもらうことができました。また、参加した多くの方に青少年補導員の活動を知ってもらえる良い機会となりました。



【生涯学習センター 大ホール 表彰式の様子】



【市補連ブース「どうぶつしょうぎ」を楽しむ様子】

令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

文部科学省は全国の国公立小・中・高等学校と特別支援学校を対象として行われた「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果を10月3日(火)に発表しました。いじめの件数と重大事態認知数が過去最多となり、不登校や暴力行為も増加しています。これらの未然防止に向け、学校・保護者・青少年育成委員会・青少年補導員等 地域全体で子どもを守ることの重要性を感じています。

今後とも青少年の健全育成にご協力をお願いいたします。

【資料1】いじめの認知学校数・認知件数

	学校総数	認知した学校数	認知件数
	(校)	(校)	(件)
小学校	19,339	17,420	551,944
中学校	10,247	8,723	111,404
高等学校	5,611	3,207	15,568
特別支援学校	1,169	492	3,032
計	36,366	29,842	681,948

前年度は、76,441件児童生徒1,000人当たり発生件数7.5件

【資料2】不登校児童生徒数(人)

小学校	105,112
中学校	193,936
小・中合計	299,048

前年度
244,940人
10年連続増加

【資料3】
暴力行為発生状況

	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)
小学校	19,339	6,948	61,455
中学校	10,247	4,893	29,699
高等学校	5,007	1,778	4,272
計	34,593	13,619	95,426

不登校1番の要因は小中とも「無気力・不安」(小学校50.9% 中学校52.2%)